

大谷尊由

おほたに
そんりゆう

真宗本願寺派僧侶。

明治十九年八月十九日京都生れ、

昭和十四年八月一日没（一八六一—一九三九）。大谷光尊の四男、光瑞の弟。

本願寺文學寮卒。日露戦役に従軍、うち執行長。宗教事情視察のため

渡歐後京派の要職を歴任。昭和二年貴族院議員、十二年折務相、次で

内閣参議となり北支開發總裁を務めた。

著書に『親鸞聖人の正しい見方』（大正十一年九月）二十五日京都・興

教書院）、『釋尊から親鸞へ』（二十版・大正十一年十一月）二十五日

大阪毎日新聞社・東京白百合新聞社「文化大學叢書」）等。

